

## 社会資本整備審議会道路分科会

## 第55回基本政策部会における主な意見(平成28年9月27日)

## [全体]

- ① バス車両のクオリティやオペレーション、ターミナルなど、全体を捉えて取組を進めて行くべきではないか。
- ② コンパクト+ネットワークを実現する上でバスと道路とターミナルの関係は重要であり、これまでの様々な取組を教訓にしながら、社会実験など積極的に取り組むべきではないか。

## [ICT]

- ③ バスロケはコストが高く導入が出来ないという課題があり、事業者が導入しやすいものとするべきではないか。
- ④ 競合他社のデータの運用の難しさなどの実運用上の観点も含めてシステムは検討すべきではないか。

## [集約交通ターミナル]

- ⑤ バス会社からの賃料だけでなく、隣接ビルの収益など、色々な形で生み出された収益をターミナルに活用する工夫をすべきではないか。

## [高速バス乗継]

- ⑥ 幹線旅客純流動データなどを用いて、高速乗り継ぎの次のターゲットを見つけることも検討すべきではないか。
- ⑦ トラックと同様に、ドライバーが乗り継ぎを行う中継輸送をSA・PA等で実現すべきではないか。

## [その他]

- ⑧ バスだけが乗れるICや、ライジングボラードを使ってバスだけを通す交差点など、バスと道路の関係に着目した取組も検討すべきではないか。